

セッション	ハンズオンセミナー6、8（内容は同一）
日時	HS6：男性医師も積極的に参加しよう！ 11月16日（土）16:40-18:40（120分） HS8：検査結果を生活指導にどう活かす！ 11月17日（日）9:10-11:10（120分）
会場	ハンズオン会場② 43F コメット
テーマ	パッチテスト・プリックテスト
対象	パッチテスト・プリックテストの具体的な手技を習得したい方ならどなたでも ※本セッションの受講で、日本皮膚免疫アレルギー学会修了証が授与されます
目的	アレルギー検査を習得して皮膚科医師としての専門性を高める
内容	実技演習では、1グループにつき4～5名程度の少人数制で行います。各グループには実技指導講師がつき、実技演習をサポートし正しく指導します。 パッチテスト a) 市販のパッチテスト試薬をユニットにのせる方法 b) ユニットの貼付方法と1%水溶液の作成方法と貼付方法 c) 判定方法 プリックテスト a) 市販アレルギーエキスとプリック針の使用法 b) 果物アレルギー検査方法 c) 判定方法
募集人数	ハンズオンセミナー6、8共に、各20名 （募集人数に達し次第締め切りとさせていただきます）
企画者 （敬称略）	関東 裕美（東邦大学医学部皮膚科学）
演者 （敬称略）	HS6：11月16日（土） 実技指導講師： 中田 土起丈（昭和大学藤が丘病院） 伊藤 崇（東邦大学医療センター大森病院） 実技指導： 鷺崎 久美子（大森町皮ふ科） 田中 博子（東邦大学医療センター大森病院） HS8：11月17日（日） 実技指導講師： 伊藤 明子（ながたクリニック） 松倉 節子（横浜市南部病院） 実技指導： 伊藤 崇（東邦大学医療センター大森病院） 鷺崎 久美子（大森町皮ふ科）
共催	一般社団法人日本皮膚免疫アレルギー学会 佐藤製薬株式会社 鳥居薬品株式会社 株式会社スマートプラクティスジャパン